

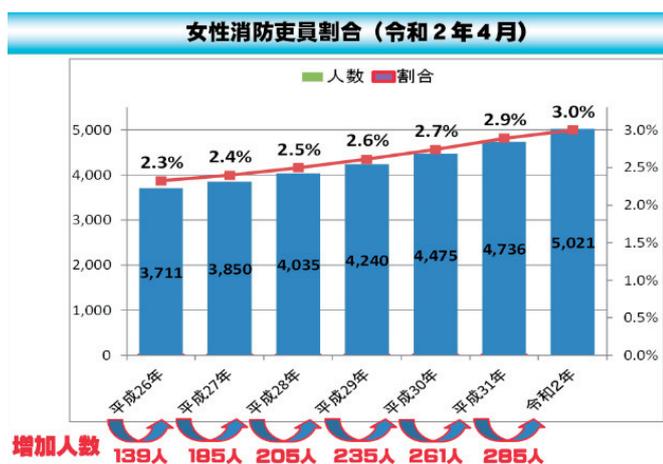
女子学生等を対象としたWEB職業体験イベント (WEBインターンシップ) の開催について

消防・救急課

すべての女性が輝く令和の社会へ向けて「第5次男女共同参画基本計画」が策定されておりますが、消防分野においても女性消防吏員の増加・活躍は、住民サービスの向上及び消防組織の強化につながることを期待されています。

消防庁では、平成27年に開催した「消防本部における女性職員の更なる活躍に向けた検討会」の提言内容を踏まえ、消防吏員に占める女性消防吏員の全国の比率を、令和8年度当初までに5%に引き上げることを共通目標としています。

女性消防吏員については、令和2年4月1日現在、全国の726消防本部中、572消防本部で5,021人が活躍しています。全消防吏員に占める割合は3.0%となっており、警察官10.2%（地方警察官に占める女性警察官の割合）、自衛官7.4%（令和元年度末現在）、海上保安庁7.4%といった他分野と比較しても少ない状況であるものの、採用者に占める女性の割合は平成26年度の3.5%から7.1%と倍増しています。



【女性消防吏員割合の推移】

この共通目標達成に向けた取組の一つである「女子学生等を対象としたWEB職業体験イベント（WEBインターンシップ）」（以下「インターンシップ」という）は、消防を目指す女性を増やすため、これから社会人となる

年齢層の女性に、消防の仕事の魅力と消防分野での女性の活躍を知ってもらい、興味をもってもらうきっかけ作りを行うため、各消防本部と連携して平成28年度から開催しているものです。

昨年度は、東京都、大阪府、福岡県において全3回開催しましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大を踏まえ、初のWEBによるインターンシップを開催し、合計11消防本部及び2県にご協力をいただき、女子学生等約700名の応募がありました。



【開催周知チラシ】

当日は、LIVEコンテンツとして、「オープニング挨拶」、「消防業務全体の魅力」、「消防吏員の仕事」について、女性消防吏員を代表する立場から3名（横浜市消防局、東京消防庁、相模原市消防局）の方に講演をしていただくとともに、「女子学生×女性消防吏員ZOOM座談会」では、女子学生と現役女性消防吏員8名によるWEB座談会方式で、対話の機会を設け、災害活動や採用試験のことなど学生が気になる様々な質問にきめ細かく対応しました。

また、スペシャルプログラムとして、元消防士で人気タレントのワタリ119さんが登場し、消防ネタの披露や、女性消防吏員2名とのパネルディスカッションを開催し、「消防という仕事の魅力・やりがい」、「プライベート

トの過ごし方」、「子育て等の職場環境」などについて発表がありました。



【LIVE講演の様子】

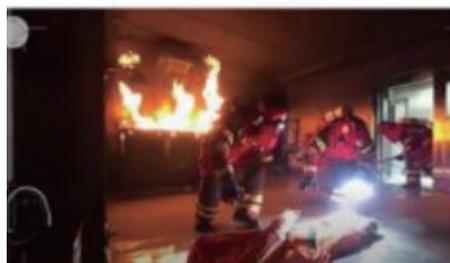
さらに、時間帯別の体験MOVIEコンテンツとして、「消防機器点検業務」、「消防体操」、「消防レシピ」、「火災現場VR体験」、「女性消防吏員活躍MOVIE」など、多数のコンテンツを配信し、WEBを通じてリアルな消防署業務を体験してもらいました。



【消防機器点検業務】



【消防体操】



【火災現場VR体験】

【参加者の感想】

- ・女性が消防で働くというイメージがクリアにできるようになりました。明るくて前向きな先輩方が多く、こんな人たちと働いてみたいという思いが強くなりました。
- ・イベントに参加するまで、女性の方が消防のフィールドでこんなに生き生きと働いていることを知りませんでした。今までは不安が大きく一歩踏み出せずにいましたが、自分の目指したい女性像ができたことで今すべきことが明確になったと思います。

【座談会に参加した消防本部の感想】

- ・ZOOM座談会に参加した女子学生達から、消防の仕事に関して途切れることなく様々な質問があったことから、消防に対する熱意を感じることができました。
- ・初めてWEBによる職業説明会を行いました。対面で話をすると緊張して質問できない学生も、WEBであれば気軽に質問でき、とても効果的だと感じました。

今年度は初めてWEBによるインターンシップの開催となりましたが、全国各地から幅広く学生に参加してもらい、消防においても女性が活躍していることをPRできました。

主催者としても新たな気づきを得られた1日となるなど、今後も、消防の仕事の魅力と消防分野での女性活躍の重要性を知ってもらえるよう、女性消防吏員の活躍推進より一層力を入れて行ってまいります。

問い合わせ先

消防庁消防・救急課
TEL: 03-5253-7522